

# TOTO

**施工説明書**

## ウォシュレット® 一体形便器(便器部)

品番：CS989BF・CS989BHF

必ず実施	2
安全に関するご注意	3
取り付け前のご注意	3
同梱部品の確認	4
給水位置の確認	5
施工手順	6
各部のなまえと施工のポイント	6
取付方法	7

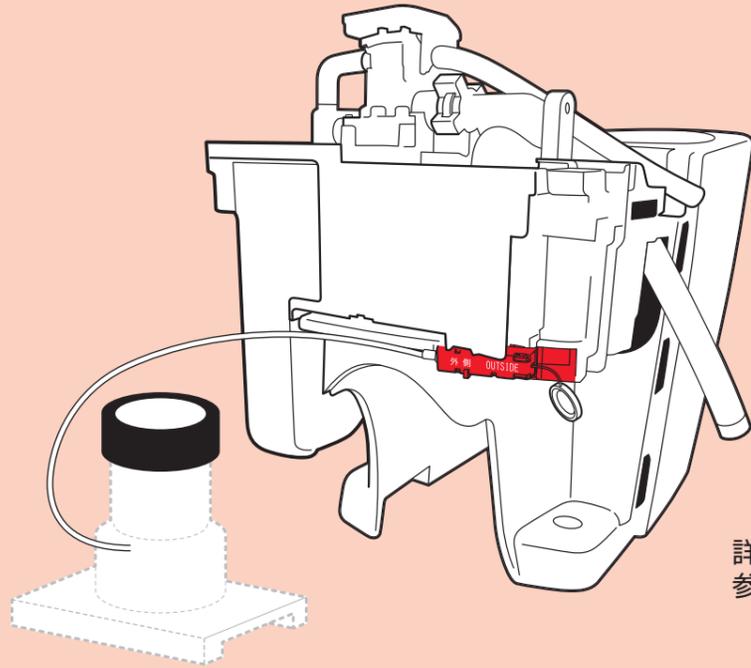
■工事内容に応じて指定のページをご参照ください。

◆“ウォシュレット”はTOTOの登録商標です。

**必ず実施**

商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。取り付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。

**便器を排水ソケットに取り付ける前に手動レバーを取り付けてください。**



詳細は11ページ **6** を参照ください。

**停電時に使用するため電池ボックスは取り外さないでください。**



※袋のヒモが切れてしまった場合は、もう一方の穴に通して取り付けてください。

**安全に関するご注意** (安全のために必ずお守りください)

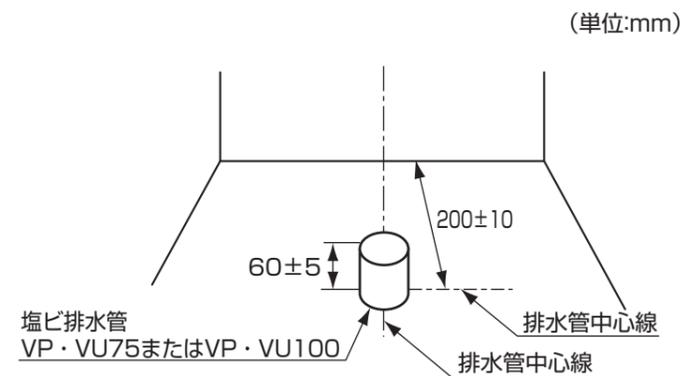
施工の前に、この「安全に関するご注意」をよくお読みのうえ、正しくお取り付けください。この説明書では、商品を安全に正しくお取り付けいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。お守りいただく事項の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

- ⊘ してはいけない「禁止」内容です。左図は、「禁止」を示します。
- ❗ 必ず実行していただく「強制」内容です。左図は、「必ず実行」を示します。

<b>⚠️ 注意</b> この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。	
⊘ 禁止	<b>便器に強い力や衝撃を与えない</b> 便器が破損してけがをしたり、水漏れして家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。
	<b>給水フレキホースを無理に折り曲げたり、たばこの火やカッターなどで、傷をつけない</b> 給水フレキホースが破損し、水漏れして家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。
	<b>止水栓を開けたままで、給水フィルターを外さない</b> 止水栓を閉めないと水が噴き出して、家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。
❗ 必ず実行	<b>浴室など湿気の多い場所に設置しない</b> 火災、感電、発熱、ショートの原因になります。
	<b>設置工事に使用する部品は必ず付属部品および指定部品を使用する</b> 正常な取り付けができなくなる可能性があります。
<b>設置工事は、この説明書に従って確実にを行う</b> 故障や水漏れの原因になります。	

※物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を示します。

**取り付け前のご注意**



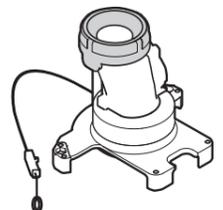
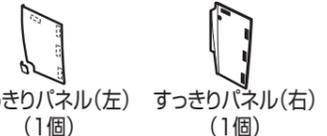
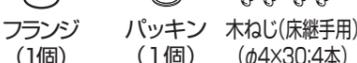
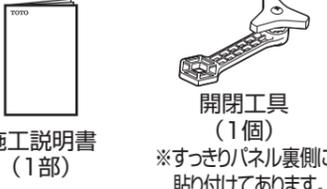
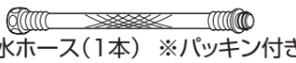
<b>⚠️ 注意</b>	
❗ 必ず実行	<b>排水管の立ち上げ寸法が55mm未満の場合は、立ち上げ用アダプター HH01001R(オプション)を使用する</b> 水漏れして家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。

立ち上げ用アダプター(別売品)の施工方法についての動画はこちらから確認できます。  
※通信料がかかります。

- ※本紙記載の品番は予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- 施工や運搬、清掃時に触れる可能性のある金属類は、陶器と接触しないようご注意ください。金属類が陶器表面をこすり、スジ状の跡が付くおそれがあります。
- 取り付けに必要なトイレスペースを確保するとともに、ドアの開閉に支障がないことを確認してください。
- 室内暖房付きの場合は温風吹き出し口から150mm以上の空間を確保してください。(壁が変色する原因となります)
- 後ろ壁に床面から高さ1400mm以下の棚やキャビネットなどがあると、リモコンの受信条件が悪くなり、リモコンを操作しても本体が反応しないことがあります。(棚、収納キャビネットは下端FL+1400mm以上を目安としてください)
- 施工前に給水管取り出し位置が次頁「給水位置の確認」に含まれていることを確認してください。また、排水管位置が所定の位置であることを確認してください。
- 所定の位置にない場合、商品が正しく取り付けられないことがあります。
- 排水管が床面と同一でカットされている場合は、60mm立ち上げ用アダプター(HH01001R)をご購入ください。
- 排水心120mmの場合は、鉛管には対応できません。
- 電源は交流100V(50/60Hz)、定格消費電力は機種によって異なりますのでウォシュレット本体同梱の施工説明書をご確認ください。
- 便器(ヒーター付の場合):電源コードの長さは、約1mです。コンセントはこの長さに適した位置に設置しているか確認してください。
- 給水圧力は最低必要水圧(流動時)0.05MPa(10L/分)、最高水圧(静止時)0.75MPaです。この圧力範囲でご使用ください。
- 商品への通電および通水は取り付け作業をすべて終えてから行ってください。
- ヒーター付便器、水抜き方式の場合は、給水ホースの水抜き勾配を確保できるように取り付けてください。取付方法は、ウォシュレット本体同梱の施工説明書を参照してください。
- 止水栓を取り付ける前に必ず給水管内のごみ、砂などを完全に洗い流してください。
- 商品セット図は、専用カタログをご確認ください。

## 同梱部品の確認

※部品があるか、下記を参照して確認してください。 ※品番によっては、図と現品の形状が一部異なります。

便器本体	排水ソケット	固定片
 <p>便器本体 ※電池ボックス付き(1個) ※ヒーター付便器の場合</p>	 <p>排水ソケット (1個) ※ゴムジョイント 手動レバー付き</p>	 <p>固定片 (1個) 接着ブロック (1個)</p>
すっきりパネル		
 <p>すっきりパネル(左) (1個) すっきりパネル(右) (1個)</p>		
給水金具	固定金具類	その他
 <p>クイックファスナー付 止水栓 ソケット 床継手 エルボ(1個) (1個) (1個) (1個)</p> <p>※便器同梱のフィルター付き止水栓を必ず取り付けてください。</p>  <p>クイックファスナー (1個) エルボ (1個) ストレート管 (1個)</p>  <p>フランジ (1個) パッキン (1個) 木ねじ(床継手用) (φ4×30:4本)</p>	 <p>六角ボルト (2本) 止め金具 (2個) ナット (2個) ワッシャー (2個)</p> <p>木ねじ(排水ソケット用) (φ5×50:6本)</p>	 <p>施工説明書 (1部) 開閉工具 (1個) ※すっきりパネル裏側に貼り付けてあります。</p>
	給水ホース	
	 <p>給水ホース(1本) ※パッキン付き</p>	 <p>位置決めシート (1部) 水受けトレイ (寒冷地のみ:1個) ※お客様に渡してください。</p>

## 給水位置の確認

**⚠️注意**

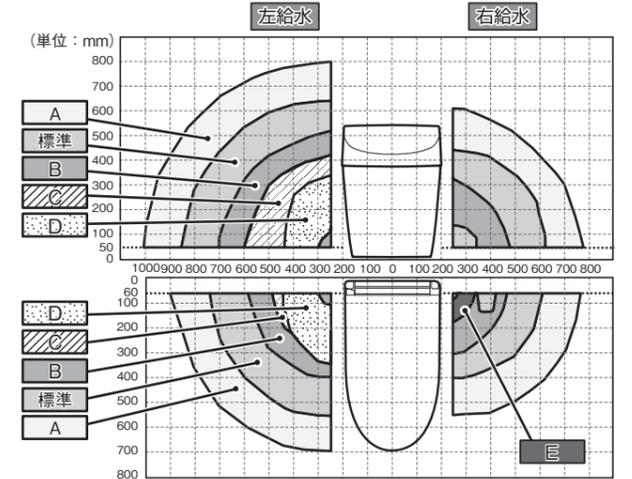
**禁止** 給水位置の真下に電源コンセントを設置したり、給水ホースと電源プラグ・電源コンセントを接触させない。結露水などにより、電源コンセントに水がかかり、火災や感電の原因になります。

止水栓取付位置	給水ホース品番	給水ホース長さ	止水栓取付範囲(右図参照)
標準	標準ホース	700mm	標準給水ホースでの止水栓取付範囲
A	TN111L86	860mm	Aの給水ホースでの止水栓取付範囲
B	TN111L552	550mm	Bの給水ホースでの止水栓取付範囲
C	TN111L45	450mm	Cの給水ホースでの止水栓取付範囲
D	TN111L40	400mm	Dの給水ホースでの止水栓取付範囲
E	TN111L37	370mm	Eの給水ホースでの止水栓取付範囲

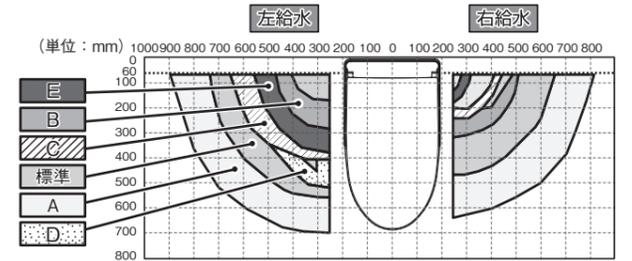
- 給水ホースの到達範囲を示したものです。ホース長さ、給水位置によってはホースが大きくなる場合があります。
  - TN111L37は長さ調整用の継手を使用しない場合の範囲を示しています。
- 前提条件—
- 左壁、左床給水の場合、床継手は標準位置に取り付けとなります。
  - 右壁、右床給水の場合、床継手を位置決めシートの床継手取付範囲の右側寄せで取り付けとなります。
- ※標準ホース(L=700)右壁・右床給水の場合も上記と同様の位置に取り付けとなります。

**⚠️注意**

**必ず実行** ヒーター付便器、水抜き併用方式をお使いのお客様は、ホース内の水抜きができるような勾配を確保して取り付ける。水が抜けずに凍結し、通水できないおそれがあります。



### 寒冷地・水抜き仕様の場合



- ※寒冷地(水抜き方式)の場合、給水対応範囲は床給水のみとなります。
- 水抜きハンドルはパネルの着脱と干渉しない位置に立ち上げてください。
- ※給水ホースが折れないように接続方向を調整してください。
- 給水ホースが折れると水が流れなくなったり、水漏れするおそれがあります。

# 施工手順

この施工手順に従って便器・ウォシュレットを正しく取り付けてください。  
 (  は本紙、  はウォシュレットの施工説明書を参照ください)

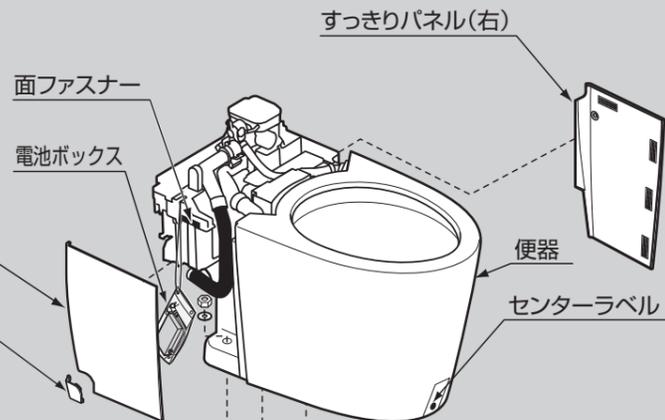


## 各部のなまえと施工のポイント

### ポイント①

すっきりパネルの取り付けはウォシュレット本体を取り付けたあとに行うこと！

**注意** 電池ボックスは取り外さないでください。



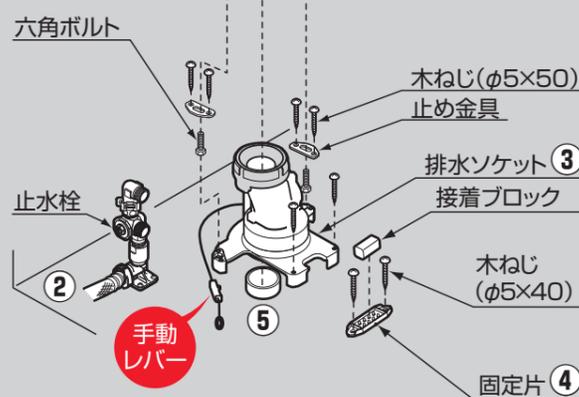
<ヒーター付便器の場合>



水受けトレイ  
※お客様に渡してください。

### ポイント②

給水ホースの取り付けの際、ホースの折れ、およびすっきりパネルとの干渉に注意すること！(➡④)



### ポイント③

- ・排水ソケットの取付方向を間違えないこと！手動レバーのある方が後壁側となります。
- ・接着剤塗布位置を間違えないこと！排水ソケットは内周、排水管は外周です。
- ・排水ソケットと排水管は両方に接着剤を塗布すること！(➡⑤)

### ポイント④

位置決めシートで固定片の位置を正しく出すこと！(➡②)

### ポイント⑤

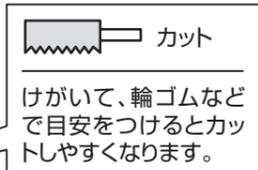
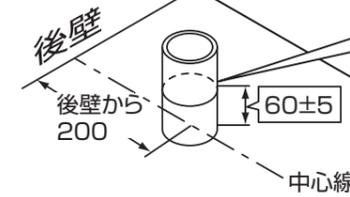
必ず60±5mmで切断すること！(➡①)

**注意** 便器同梱のフィルター付き止水栓を必ず取り付けてください。  
 ゴミかみによる止水、吐水不良になるおそれがあります。

# 取付方法

## 1 排水管の立ち上げ方法

排水管を所定の位置に取り出す。



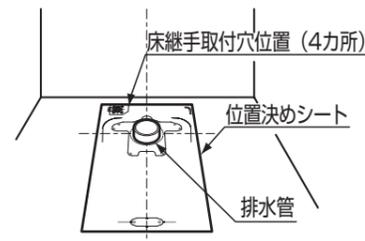
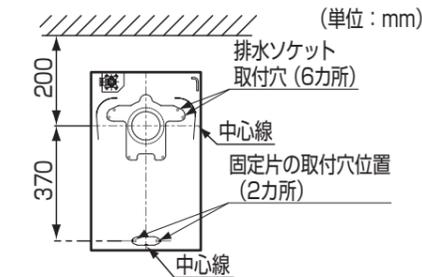
(単位:mm)

※排水管の切断面のバリ、汚れは必ず除去してください。  
 ※排水管と床にすき間がある場合、防カビ性のシリコン系シーリング材(メジール)にて充填してください。階下に水漏れが発生するおそれがあります。

## 2 位置決めシートで固定穴位置をけがく

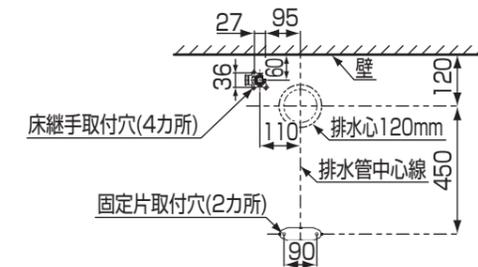
### 左給水の場合

- ①位置決めシートを排水管の中心線にあわせ床面に置く。
- ②床継手、排水ソケットおよび固定片の取付穴位置(8カ所)をけがく。
- ③けがいた取付穴位置にφ3程度の下穴をあける。  
 ・φ3程度の下穴をあけると作業がしやすくなります。



<排水心120mmの場合 固定穴位置のけがき>

- ①排水配管基準にて床継手取付穴位置(4カ所)および固定片の取付穴位置(2カ所)をけがく。



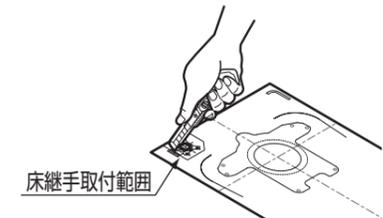
- ②排水ソケットを仮置きし、排水ソケット取付穴位置(6カ所)をけがく。  
 ・排水ソケットの取付方向を確認してください。
- ③けがいた取付穴位置にφ3程度の下穴をあける。  
 ・φ3程度の下穴をあけると作業がしやすくなります。



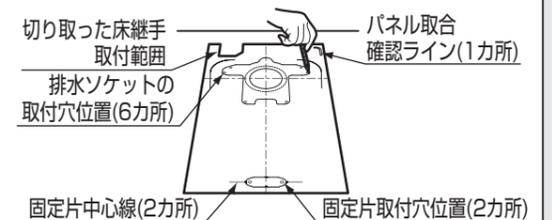
### 右給水の場合

※排水心120mmの場合、右給水には対応していません。

- ①位置決めシートの床継手取付範囲をミシン目に沿って切り取る。



- ②切り取った床継手取付範囲、パネル取付確認ライン、排水ソケットおよび固定片の取付穴位置、固定片中心線をけがく。

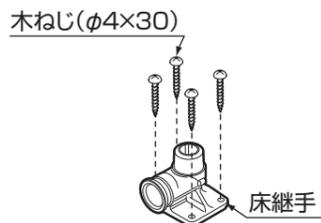


3 給水金具の取り付け

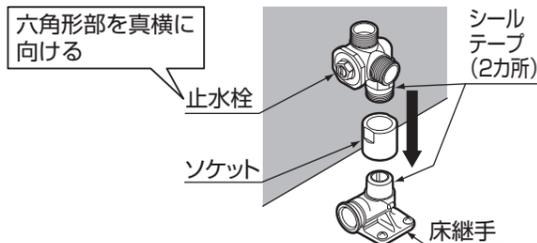
左給水の場合

①床継手を所定の位置に木ねじで床（4カ所）に固定する。

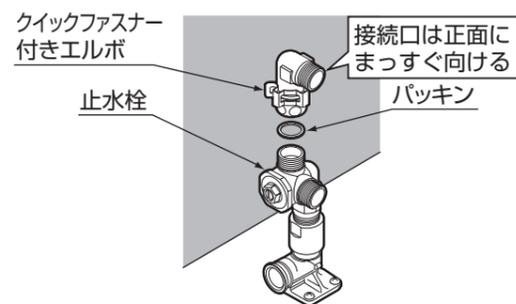
- ・固定する前にねじ部にはシールテープを巻いてください。



②床継手に止水栓をねじ込む。



③止水栓にパッキンとクイックファスナー付エルボを取り付ける。



共通

左給水の場合

右給水の場合

施工手順を動画で確認できます。

※通信料がかかります。



右給水の場合

<イラストは床給水(寒冷地)の場合>

注意

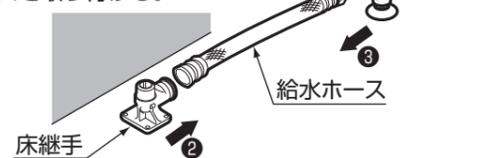
右給水の場合は、位置決めシートで、適切な位置に床継手の下穴をあける  
床継手の位置が適切でない場合、給水ホースがパネルと干渉したり、床継手や給水管と接続できないおそれがあります。

①既設の止水栓を外し、既設の給水管にストレート管またはエルボを取り付ける。  
床給水の場合：ストレート管  
壁給水や寒冷地の場合：エルボ



②床継手と給水ホースを取り付ける。

③エルボまたはストレート管に給水ホースを取り付ける。



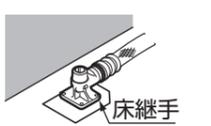
④位置決めシートでけがいた範囲内で床継手を仮置きする。

注意 床継手の下穴はまだあけないでください。

⑤位置決めシートでけがいたパネル取合確認ラインにパネルをあわせる。

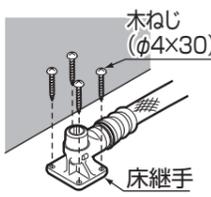


⑥ホースとパネルが干渉しない位置に、位置決めシートでけがいた床継手取付範囲内で床継手を適切な位置に仮置きする。

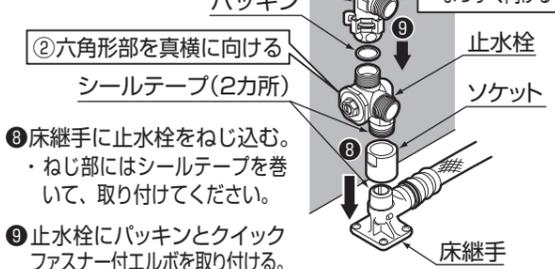


⑦床継手を固定する。

- ・仮置き後、給水ホースとパネルが干渉しないことを再度確認し、床継手を木ねじで床(4カ所)に固定する。
- ・床に木ねじをねじ込む前にφ3程度の下穴をあけると作業がしやすくなります。

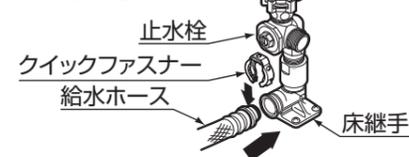


クイックファスナー付きエルボ



4 給水ホースの接続

①床継手に給水ホースを接続し、クイックファスナーを取り付ける。



クイックファスナーの取り付けかた

1) 床継手と給水ホースとのつば部にクイックファスナーカバー先端の凹部をあわせ、真っすぐ押し込む。



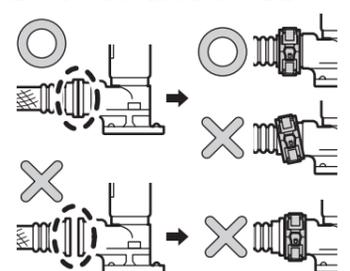
2) クイックファスナーは、カバーの先端を指先で確実に閉める。



3) クイックファスナーが確実に閉まっていることを目視などで確認する。



1. クイックファスナーが正しくセットされているか確認してください。



2. ホースを強く引っ張って抜けないことを確認してください。

※クイックファスナーが正しくセットされていないと、ホースが抜けて水漏れのおそれがあります。

②既設の止水栓を取り外し、既設の給水管にストレート管（床給水の場合）またはエルボ（壁給水や寒冷地の場合）を取り付け、給水ホースを接続する。

床給水の場合



注意

床継手と給水ホースはすき間ができないように確実に押し込む

クイックファスナーは正しく取り付け、目視などで確認する

カバーが閉まらない場合は、クイックファスナーが正しく接続されていない可能性があり、そのまま使用すると水漏れの原因になるので、必ずクイックファスナーを取り外して正しく接続し直す  
取り付けが不十分な場合、水漏れして家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。

袋ナットの内側にパッキンが入っていることを確認する

給水ホースの取り付けの際、ホースの折れに注意する  
水漏れして家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。

壁給水の場合



- ・エルボの向きを間違えないように取り付けてください。エルボの向きを間違えると、水漏れのおそれがあります。
- ・エルボは取付角度を調整し、給水ホースが折れたりしないことを確認してから本固定してください。

寒冷地(水抜き仕様)の場合

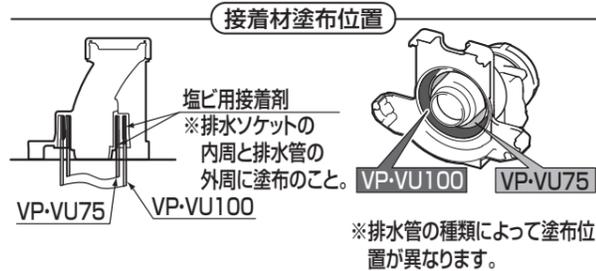


- ・寒冷地(水抜き仕様)の場合は、エルボを用いて給水ホースが上になるように接続してください。エルボを使用しないと、水抜き操作時に給水ホースの水が抜けません。
- ・エルボの向きを間違えないように取り付けてください。エルボの向きを間違えると、水漏れのおそれがあります。

※オプションホースの接続については、オプション品同梱の施工説明書を確認してください。

5 固定片・排水ソケットの取り付け

- ①排水ソケットの前後を確認する。
- ②排水ソケットと排水管の接着部に塩ビ用接着剤を塗り、排水ソケット下面が床面につくまで押し込む。



**注意** 一度接着すると、手直しができませんのでご注意ください。

- ③排水ソケット後固定部（2カ所）に六角ボルトを立て、金具を通してうえで、木ねじで床（4カ所）に固定する。

**注意** ・取り付けの際、床と排水ソケットでワイヤーを挟まないようご注意ください。  
・排水ソケットの六角穴に、六角ボルトの頭部を確実にはめ込む。  
確実にはめ込まれていないと、便器がガタつくおそれがあります。

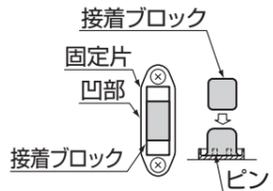
- ④排水ソケット前側（2カ所）を、木ねじで床に固定する。

- ⑤固定片を中心線にあわせて、木ねじで床（2カ所）に固定する。  
・床に木ねじをねじ込む前に、φ3程度の下穴をあけると作業がしやすくなります。

- ⑥接着ブロックをクラフト紙に包んだ状態のまま固定片の凹部のピンに差し込み、指で軽く押す。

<接着ブロックについて>

・施工直後のやり直しの際は、接着ブロックの形を右図のように整えてください。  
・接着ブロックの方向性は特にありません。  
・気温が下がると接着ブロックが固くなる場合があります。このときはPシールをあためて柔らかくしてからご使用ください。



・詳細は、接着ブロック同梱の注意書を参照してください。

**注意**

**接着剤塗布位置を確認する**  
塗付位置を間違えると水漏れして家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。また、臭気漏れの原因となります。

**接着剤は必ず、排水ソケットと排水管の両方に塗布する**  
片側のみ塗布した場合、水漏れして家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。また、臭気漏れの原因となります。

**排水ソケットは下面が床面につくまで押し込む**  
押し込まない場合、排水ソケットの固定時に破損するおそれがあります。

**必ず実行**

**排水心200mmの場合**  
排水ソケット  
木ねじ (φ5×50)

**排水心120mmの場合**  
※排水ソケットの取付方向を確認してください。

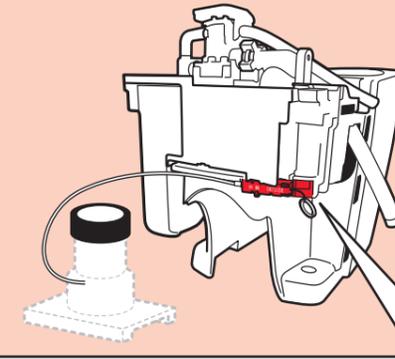
固定片中心線

排水ソケット後固定部  
木ねじ (φ5×50)  
止め金具  
六角ボルト

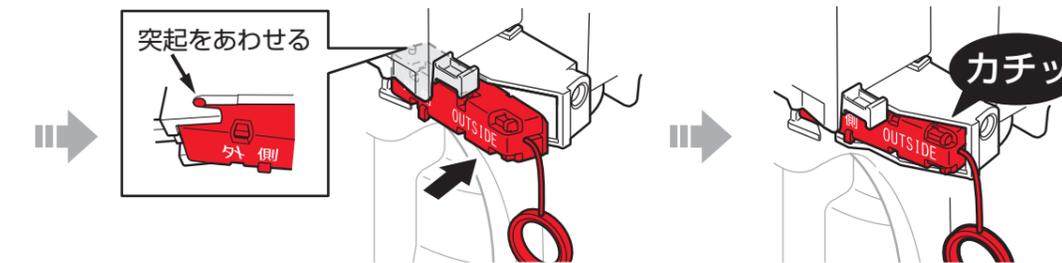
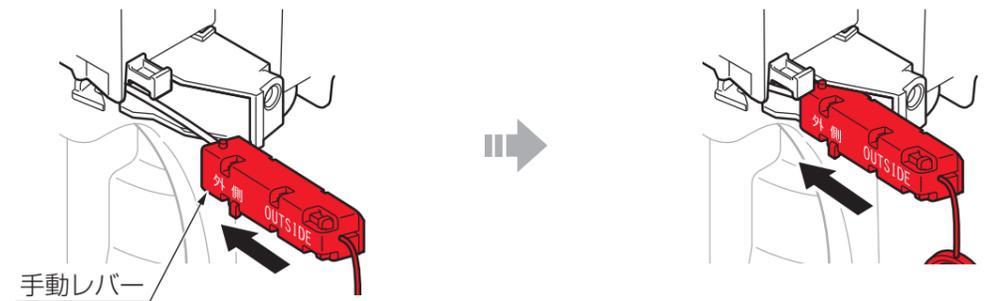
クラフト紙  
接着ブロック  
木ねじ (φ5×40)  
固定片

6 手動レバーの取り付け → 7 便器の取り付け

施工手順を動画で確認できます。  
※通信料がかかります。



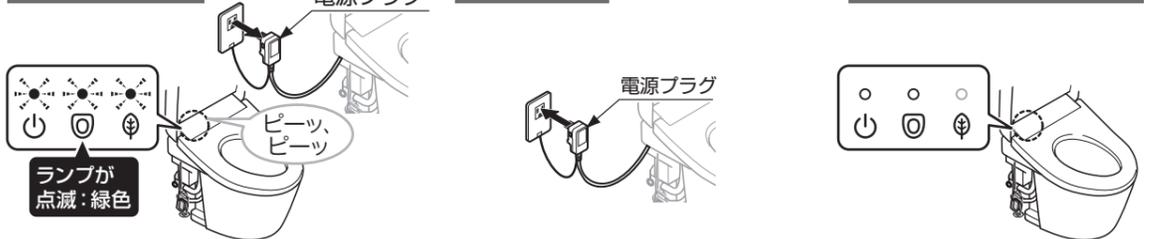
手動レバーの向きを確認して横にスライドする



※取り付け後、手動レバーが外れないことを確認してください。

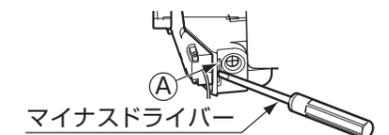
電子音が鳴り、ランプがすべて点滅している場合

電子音が鳴る → ①電源プラグを抜く → ②6に従って手動レバーを取り付ける → ③電源プラグを差し込む → 電子音が止まり、ランプがすべて点滅していないことを確認する



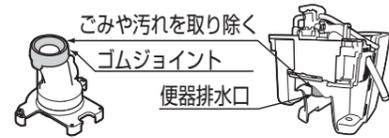
<手動レバーの取り外し>

マイナスドライバーなどを図(A)に挿入し、ロックを解除して取り外してください。

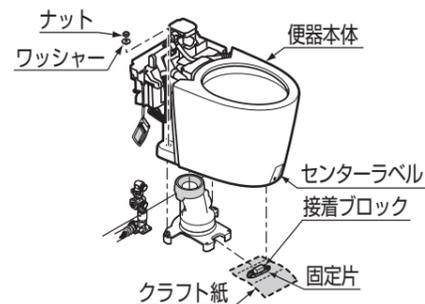


## 7 便器の取り付け

- ① 便器排水口および排水ソケットの接続部周辺のごみや汚れを取り除く。



- ② 便器排水口を排水ソケットに差し込む。  
 ・便器の持ちかたは右下図を参考にしてください。  
 ・壁面に幅木があり便器が取り付けられない場合には、幅木をカットしてください。



- ③ センターラベルを基準に便器の位置を微調整する。

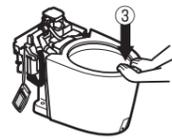
- ④ 便器先端を少し持ち上げ、固定片の上のクラフト紙を引き抜く。



- ⑤ 接着ブロックがつぶれるまで、便器をしっかりと押さえ、センターラベルをはがす。

**注意**

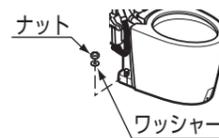
センターラベルを基準に便器の位置を微調整してください。位置合わせ後、センターラベルをはがしてください。  
 便器が床につくまでしっかり押さえてください。



- ⑥ 便器の取付穴(2カ所)をナット、ワッシャーで固定する。

**注意**

ナットを確実に締めてください。  
 ナットを締め過ぎて便器を割らないように注意してください。



**ポイント**  
 目安として 壁から10~15mm を目指して真上から取り付けるとスムーズに入ります。  
 ※壁に傷がつかないように差し込んでください。

**手動レバーの取り回しかた**

**手動レバーを挟まないこと**

※手動レバーを引っ張ったり、便器に挟まないようにしてください。

**便器の持ちかた**

**注意**

機能部を持つと破損するおそれがあります。



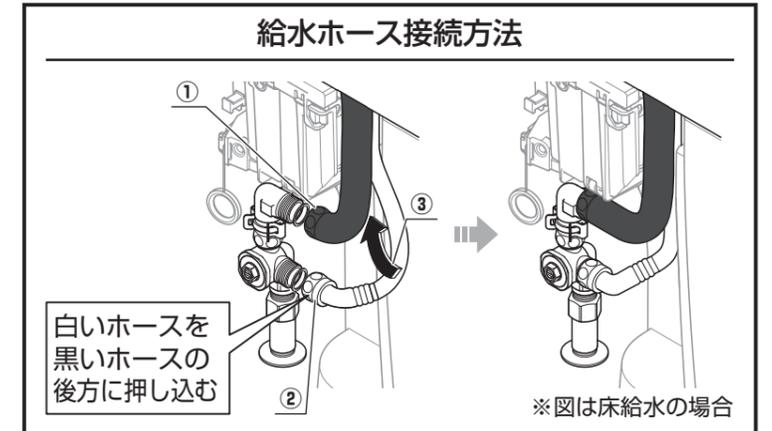
## 8 ウォシュレット本体の取り付け

※取付方法・操作方法は、ウォシュレット本体同梱の施工説明書を参照してください。

- ウォシュレット本体を取り付ける。
- 便器に水が流れているときは、電源プラグをコンセントに差し込む。  
 ・電気工事が未完了のときは、電池ボックスに乾電池を入れて、電池ボックス用コードをプラグ差し込み口に差し込んでください。
- 手動レバーの動作を確認する。  
 ・ウォシュレット本体の試運転を行った後、動作確認を行ってください。

## 9 すっきりパネルの取り付け

- すっきりパネル(左)からねじを外して、キャップを取り外す。
- すっきりパネルを図Aと図B(点線)にあわせてすき間が目立たないように取り付け。



- 面ファスナー部(4カ所)をしっかり押さえて、すっきりパネルが外れないことを確認してください。
- すっきりパネルにすき間や浮きがある場合は、上図を参考に給水ホースの接続方法を確認してください。きちんと取り付けしない場合、すっきりパネルが外れるおそれがあります。詳細は、ウォシュレット本体同梱の施工説明書を参照してください。

## 10 取り付け後の確認

- 試運転後は、すべての接続部において水漏れしていないか確認してください。取り付けが不十分な場合、水漏れして家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。
- 試運転(洗浄)後、便器ボウル内に配管の切粉など異物がないことを確認してください。もらいさびなど異物付着の原因となるおそれがあります。
- 陶器表面に傷などが無いことを確認してください。陶器表面に金属類(時計のバンド、ベルトのバックルなど)が強く接触したり、こすれたりすると黒や銀色のスジ状の跡が付くことがあります。スジ状の跡が付いた場合は、当社製品「蛇口まわりのクリーナー」で除去してください。
- 施工したあとは、便器ボウル内に油などの見えない汚れ(コーキング剤、配管用接着剤など)の付く場合がありますので、トイレ用中性洗剤(研磨剤なし)を使って、必ず汚れをふき取ってください。便器ボウル面の洗い残りの原因となります。
- 陶器とすっきりパネルの間に目立ったすき間がないこと、浮き上がりがないことを確認してください。きちんと取り付けしない場合、すっきりパネルが外れるおそれがあります。

## お客様に快適に使っていただくためのポイント

トイレ床材に防水加工がされていないフローリング(木質系)を使用すると、こぼれた小水や結露水などが便器と床材のすき間に入り込み、床シミが発生することがありますので、おすすめできません。  
フローリング(木質系)を使用される場合は、便器ハカマ下部周囲に防カビ性のシリコン系シーリング材(メジール)を塗布することをおすすめいたします。

